

献詠入選歌（一般の部）

一位 いもうとの胸にちいさき白百合を

置いて祖父母は葬場を出づ

石川県金沢市

渡邊 わたなべ 美愛 みえ

二位 近づけば静かに香り始めたり

夜の窓辺に置かれし柚子は

京都府京都市

小池 こいけ ひろみ

三位 お互いの母のほどよき思い出を

従姉妹と語る法要のあと

愛知県岡崎市

西村 にしむら 愛美 あいみ

四位 晩秋の陽に柿の実のあかあかと

照りいる戦火なき国に在り

神奈川県愛甲郡

富田 とみた 茂子 しげこ

献詠入選歌（小中学生の部）

一位 嘘ついてみんなの期待に忘れては

見えなくなつた本当の自分

岩沼市立岩沼中学校

後藤 ごとう

嘉杏 かなん

二位 世界ではいろんな話題が交差する

またたく幾千の流星群のよう

岩沼市立岩沼中学校

清水 しみず

柊平 しゅうへい

三位 キヤッチしたはずのボールがネット揺らす

わずかでいいんだ時を戻して

山口大学教育学部付属光中学校

横道 よこみち

玄 ひかる

四位 赤とんぼ羽をなびかせ空をとぶ

すばしっこくてつかまらないよ

大磯町立大磯小学校

宇野 うの

美咲 みさき

献詠入選歌（高校生の部）

一位 背が高くなつた気がして齒磨きを

する兄の横また立ってみる

星野高等学校

さいとう しおり
齊藤 栞

二位 君の髪、腕、足、瞳持っている

人でも君にはなれなかった

滋賀県立膳所高等学校

いけだ れいあ
池田 玲亜

三位 セーラー服腕を通した瞬間に

ふと感じる冬の訪れ

徳島県立脇町高等学校

あべ ゆきの
阿部 夕希乃

四位 「最近の若者は」なんていうけれど

芋煮が好きを僕もいますよ

神奈川県立光陵高等学校

さの こうた
佐野 晃太